

民族と国家の自由を表現する BRICS

ルイス・アルセ・カタコラ （ボリビア多民族国大統領）

2024 年 10 月 25 日

以下はロシアのカザンで開かれた第 16 回 BRICS 首脳会議に招待されたボリビア多民族国のルイス・アルセ・カタコラ大統領の演説全文です。

<https://cancilleria.gob.bo/mre/2024/10/25/18365/>

皆様こんにちは、

兄弟国であるロシアのプーチン大統領にご挨拶申し上げます。プーチン大統領は、BRICS 諸国グループ当番議長国として、親切にもわがボリビア多民族国を第 16 回 BRICS 首脳会議に参加させていただきました。

BRICS 加盟国および本サミットに招待された国々の首脳の皆さまにご挨拶申し上げます。

新 BRICS 開発銀行のジルマ・ルセフ総裁にご挨拶申し上げます。そしてご出席の皆さま、

まず、カザンの温かい歓迎と歓待に感謝申し上げます。

ボリビアにとってこのフォーラムに参加できることは光栄であり、BRICS が人類にとってより均衡のとれた公正な新たな世界秩序を築く可能性を具体的に証明するものであるとの確信を再確認するものです。

本日の参加は、特に新興国・途上国の成長と発展に必要な改革に関する BRICS 諸国の提案と約束に、ボリビアが賛同していることを示すものです。

ボリビアは、共同の発展を達成するための最も効果的なメカニズムとして、地域およびグローバルな統合を固く信じています。グローバル・ガバナンスに関するビジョンを共有することで、私たちは BRICS に一層近づくことができます。

本日は、世界経済の歴史における新たな時であり、創設の日です。希望の日であり、BRICS という言葉が、このブロックの創設諸国の国旗で作られ、このイベントのロゴに表現されている色とりどりの太陽によく表されています。

それは、1945 年以來、欧米諸国の繁栄を示し、米ドルの経済と独裁を旗印に、アジア、アフリカ、ラテンアメリカの人々を支配し、経済的に服従させ、中央と周縁の關係に束縛をもたらしてきた、**ブレトンウッズ協定の失効を告げる新しい夜明けであることは間違いありません。また、多極化への不可逆的な傾向の確立を告げる新しい夜明けでもあります。**

すべてのものには太陽の下でその時があるという、このことわざは、長い歴史を持つ文化を代表する人びとの知恵を表しています。しかしそれらの文化は、戦争の恐怖、破壊、そして人々の飢えによって汚されてきました。しかし、戦略的な天然資源を支配し搾取するという欲望のために、彼らが持つ芸術の宝や、美しい自然環境への敬意もなく、それらの環境は時に荒れ果てた地に変えられています。それにもかかわらず、これらの**千年続く人々は、長い歴史の記憶と抵抗の表現として文化的遺産を守り続けており、それが彼らを不屈の存在にしています。**

世界の人々は、二極主義に導かれた世界を建設するという試みが失敗したあと、長い間、一極主義の支配と覇権のもとに生きてきました。今日、止められない歴史的な力をもって多極主義が浮上し、地球規模の政治的・経済的な關係においてその地位を確立しています。それは、地球の状況が人類と母なる地球の生存を脅かす限界に達したからです。その原因は、無謀な軍備拡大競争と富の一部への集中にあり、日常的にさらなる支配力を維持するために、脅威と見なされる存在への対応として、ますます多くの戦略兵器が生産され、富裕層と貧困層の不平等が一層深刻化しているためです。

世界はこの現実を認識し、だからこそ多極主義が必要であり、パレスチナへの軍事攻撃やキューバへの経済封鎖、あるいは自決を拒否されたサハラ砂漠の人々への残酷な新植民地主義など、不当かつ残酷なジェノサイド行為によって処罰されている**民族や国家の自由を表現するものとして台頭してきているのです。**

この文脈において、ボリビアは、国際司法裁判所における南アフリカ対イスラエル訴訟において、ガザ地区におけるジェノサイド犯罪の防止及び処罰に関する

る条約の適用に関する訴訟への介入宣言を提出したことを想起することが重要です。ボリビアは、パレスチナ人民の権利と中東和平への確固たる約束を改めて表明します。

私たちは、1945 年以來、世界を支配し続けようとする西側権力の潜在的な犠牲者である国々において、**合法的に作られた民主主義を、クーデターを通じて抑圧しようとする不安定化行為や試みを忘れることはできません。**ラテンアメリカに関しては、**ベネズエラとその石油、ボリビアとリチウム、そして地政学的な位置からホンジュラスとコロンビアを指します。**

これらの大きな問題、つまり一極主義が煽るマクロ的な問題を超えて、この基礎となる瞬間に、ロシア連邦は BRICS の当番議長を務め、その行動は「政治と安全保障、経済と金融、文化と人道的絆」という 3 つの主要分野における連結の枠組みの中で、あらゆるパートナーシップと協力を促進する」ことに焦点を当てると約束しています。しかし、現在の世界的な状況において、私たちは、変化は決められたものではなく、全体のプロセスの一部であることを理解しています。

今年 6 月 10 日に開催された BRICS 外相の途上国との対話で表明されたような改革は不可欠であり、その 54 項目には、経済協力を超えて、共通のビジョンと世界観を示す、彼らの活動の主題となる問題のヒントが示されています。

私たちは、発展途上国や後発発展途上国が現在排除されている意思決定プロセスに参加できるよう、より効率的な参加を可能にする、より機敏で、効果的で、即応性があり、代表的で、合法的で、民主的で、説明責任のある国際的・多国間システムを構築することが必要であると確信しています。

今日、経済力は大西洋横断地域からインド太平洋地域へと移行していますが、グローバル・ガバナンスの制度は依然として北半球に集中しており、貿易、医療、エネルギー供給、食料安全保障に関する決定や制裁を行う上で、これらの制度が決定的な役割を果たしています。これは変えなければなりません。

この文脈において、ボリビア多民族国は、国連安全保障理事会、世界銀行、国際通貨基金といった機関の改革を支持する立場を維持します。この機関は、公平かつ代表的な方法で現実に適応しなければならず、平等な方法ですべての要求に耳を傾け、新たな権力アクターを考慮しなければなりません。

私たちは、ボリビアのような発展途上国のプロジェクトに資金を提供し、より豊かで公平な未来を実現するための重要な機関である新開発銀行（NDB）の強化を支持します。

今日私たちが直面しているグローバルな課題と資本主義の多次元的な危機は、今日グローバル・サウスを代表する大多数の国々の団結と団結した力を必要としています。

私たちは、発展途上国の潜在力を通じて、また BRICS ブロックの支援により、経済とグローバル・ガバナンスの変革を推進し、科学技術、デジタル接続、再生可能エネルギーにおける大きな進歩に基づく、共同かつ互恵的な発展の展開を強化できると確信しています。

ボリビアは天然資源に恵まれた国であり、世界有数のリチウムの埋蔵量を誇り、天然ガス、伝統的な鉱物、レアアースの重要な埋蔵量を有しています。私たちは工業化の過程にあり、BRICS への参加はこの過程の相互利益を目的としています。

カザンでのこの会議は、歴史的に従属させられてきた民族や国家が BRICS の盾と多極化の背後に並び、適切な形で共に、領土の主権を守りながら民族の願望と発展のプロセスを実現するという、歴史における新たな時を確立するものであると、私は改めて考えています。いかなる干渉も受けず、自決をもって、西側諸国が私たちの利用を否定した制度的基盤を回復し、国際関係の感覚を取り戻し、国際法を尊重し、西側一極集中と米ドルの専制に支配された私たちの国民とともに正義を行使します。

このサミットの決定と結果が、私たち人民の利益となる具体的な行動に移され、人類と私たちの将来の世代の世界的発展のための有望な未来への道を指し示すことができますように願っています。

ありがとうございました。

【翻訳 新藤通弘】